

五輪でビッグサイト使用制限

すれ違う思い

都「期間短縮で」利用者「抜本策を」



「コミックマーケット」が開かれた東京ビッグサイト＝東京都江東区で

国内最大の展示場「東京ビッグサイト」（東京都江東区）は、二〇二〇年東京五輪・パラリンピックで報道拠点として使われるため、前年から使用が制限され始める。商談の機会を失うとの声は強く、施設を所有する都は使用できない期間の短縮を打ち出したが、「焼け石に水」との不満もくすぶる。（内田淳）

「期間の短縮は第一歩だ。石積忠夫会長は、依然として抜本的な解決ではない」として先行きを懸念する。ビッグサイトは東京大会の準備や撤去期間を含め二、十月月間、一部が全館が展

東京ビッグサイトが使えなくなる期間 ■:利用可 ■:使用制限短縮で利用可に

展示棟(m ²)	2019年		20年				
	4月	7月	5月	7月	9月	10月	12月
①東展示棟(5.1万)							
②東新展示棟(1.5万)	国際放送センター						
③西展示棟(2.9万)				プレスセンター			
④南展示棟(新設、2万)	建設工事			閉鎖			
⑤青海展示棟(仮設、2.3万)					閉鎖		閉鎖
展示場として使える面積	5.2万	7.2万	2.3万	0	2.3万	7.2万	11.6万

示場として使えなくなる。都は対策として一・五キロ離



れた場所に仮設棟を建設中だが、協会は十分な広さではないとして「二百三十二本の見本市が中止になり、七万八千社の出展社が二兆円の売り上げを失う」と試算。関連業者が倒産する恐れもあると訴えてきた。

小池百合子知事は九月、五棟のうち三棟で使用制限期間をそれぞれ五日間と約一カ月間、短縮すると発表。二〇年五月のゴールデンスウィークは、人気イベント

ト「コミックマーケット（コミケ）」で使えるよう調整していると明かした。だが、石積会長は「もとも日本は海外に比べ展示場が不足している」と指摘。解決策は、別の展示場を首都圏に建てるか、東京大会の報道拠点を別に造るしかない」と強調する。

都の担当者は「もう時間はなく、施設を造る」とは考えていない。使用制限期間の短縮もこれ以上は難しい。年間を通じて会場がうまく利用できるように調整したい」と理解を求めた。

一方、首都圏では展示場を横浜市に造ろうと提案する動きも。港運事業者でつくる横浜港運協会は九月、山下埠頭に展示場を造る案をまとめ、市に働きかけると発表した。展示会協会なども期待するが、市は慎重な姿勢を見せている。